

福島第一原子力発電所 建屋開口部における空気中放射性物質の核種分析結果

参考値

(データ集約 : 1/18)

採取場所	3号機廃棄物処理建屋 (西側開口部)		造粒固化体貯蔵排気設備 (排気出口側)				②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)	
試料採取日時刻	平成25年1月8日 9時40分～10時40分		平成25年1月9日 12時06分～12時16分					
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)		
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-			1E-03	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-			2E-03	
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-			3E-03	

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

O. O E - O とは、O. O × 10^{-O}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約1E-5Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約6E-6Bq/cm³、Cs-137が約7E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。